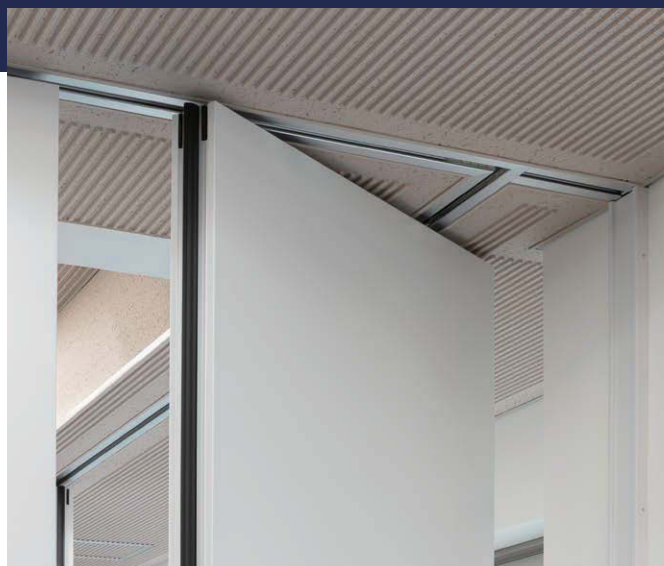




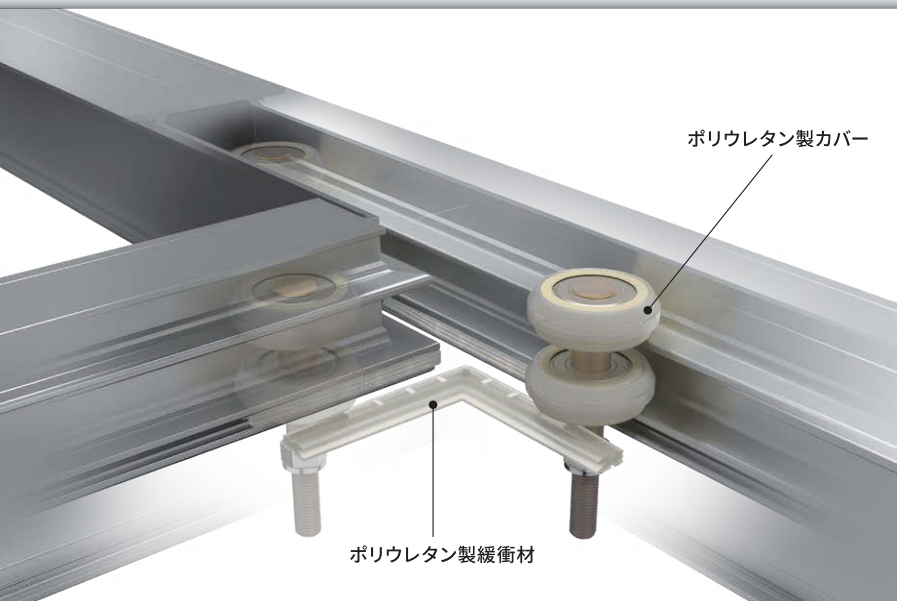
衝撃吸収ランナー&レール

スライディングウォール 230NB

クロスランナー-230NB | クロスレール230NB



制振性と制音性を備えた専用ランナーとレールで 施工費のコストダウンが可能！

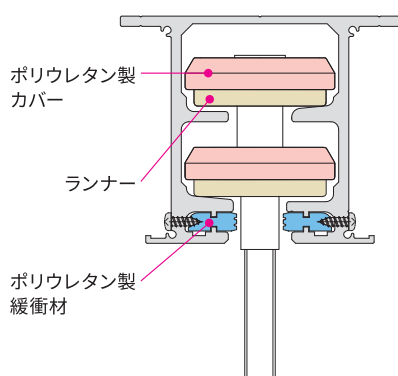


ランナー部に、優れた弾性、耐摩擦性を有するポリウレタン製カバーを装着することで、レール分岐部における衝撃音を軽減。

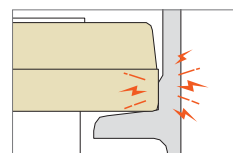
さらにレール分岐部にも緩衝材を設け、ランナーボルトとレールの接触による振動と金属音を軽減します。

下地工事による防振対策と比較して、**約6～8%**振動を抑制し、施工費のコストダウンも図ることができます。

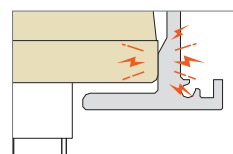
230NBは分岐部の緩衝材、ランナーのカバーによりさらに制振性、静音性をアップ



200Bレール・ランナー

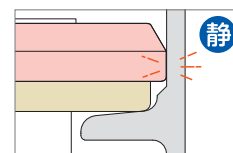


ポリウレタン製カバー無し

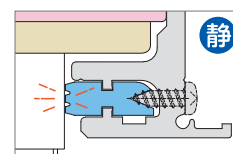


ポリウレタン製緩衝材無し

230NBレール・ランナー



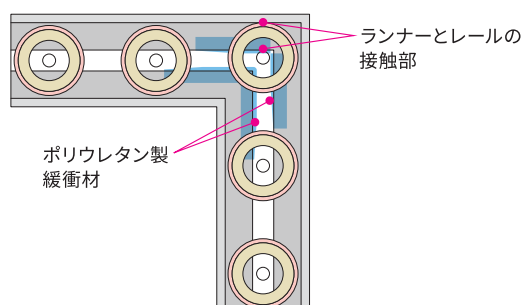
ランナーがレール側壁とぶつかる際、ポリウレタン製カバーがショックを和らげます。



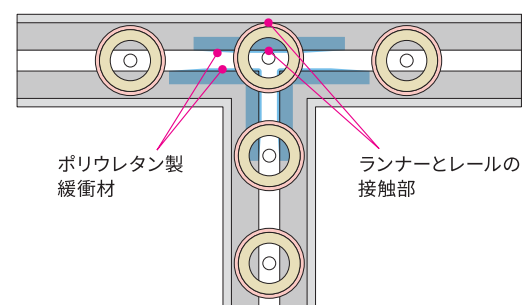
ポリウレタン製緩衝材が、ランナーボルトとレールの接触による振動や金属音を軽減します。

ランナーの走行経路

L字分岐



T字分岐

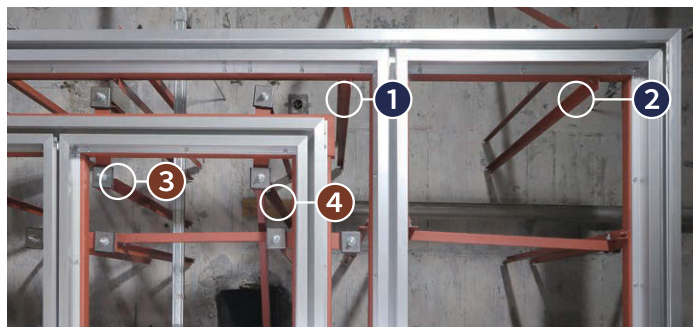


// 制振性能比較 //

レール全景

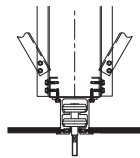
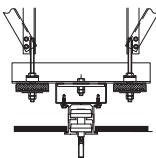


測定部 レールを下から見上げた写真



測定結果

(単位: dB)

レール・ランナーの種類	230NBレール・ランナー	200Bレール・ランナー (防振ゴム仕様)
測定部		
T字分岐部	①	③
	85.5	90.4
L字分岐部	②	④
	93.3	101.4

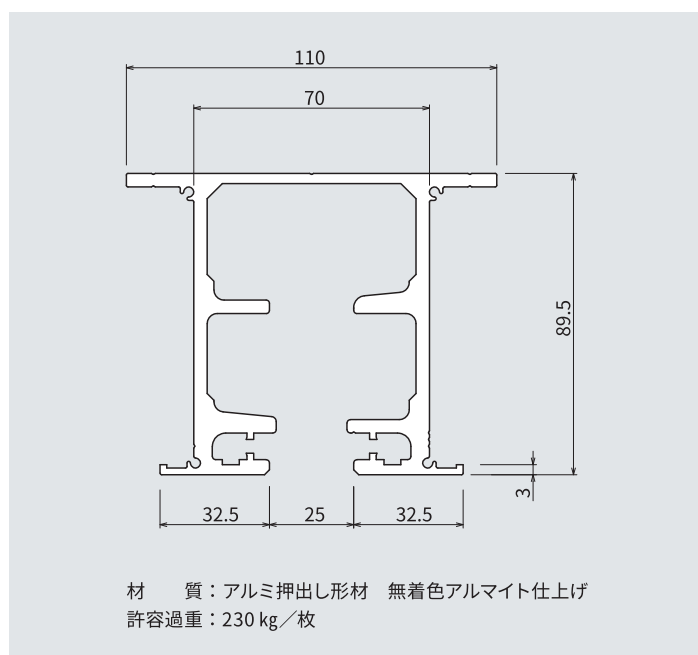
上記測定結果より、230NBレール・ランナーは200Bレール・ランナー(防振ゴム仕様)より、振動が約6~8%軽減されていることがわかります。

【測定について】

- ・測定器について: 日本工業規格の「振動レベル計」(JIS C-1510、C-1517の技術上の基準に適合した振動レベル計)を使用。
- ・測定周波数について: 規定の周波数1~80Hzの範囲で測定。
- ・測定振動レベル(Lv)について: 振動加速度レベル(LVa)に人間の鉛直方向における振動感覚補正を加えたもので、鉛直方向振動、振動加速度レベルとも呼ばれる。
- ・測定値について: 当社試験場において、各部10回測定の平均値であり、現場状況によって値が変わるため、保証値ではありません。

// ハンガーレールとランナー //

クロスレール230NB



クロスランナー 230NB



// レール取り付け工事 //

スライディングウォールは、レール取り付け部の遮音工事、荷重が集中する格納部分の取り付け補強工事が重要なポイントとなります。現場の条件に合わせて、適切な工法をお選びください。

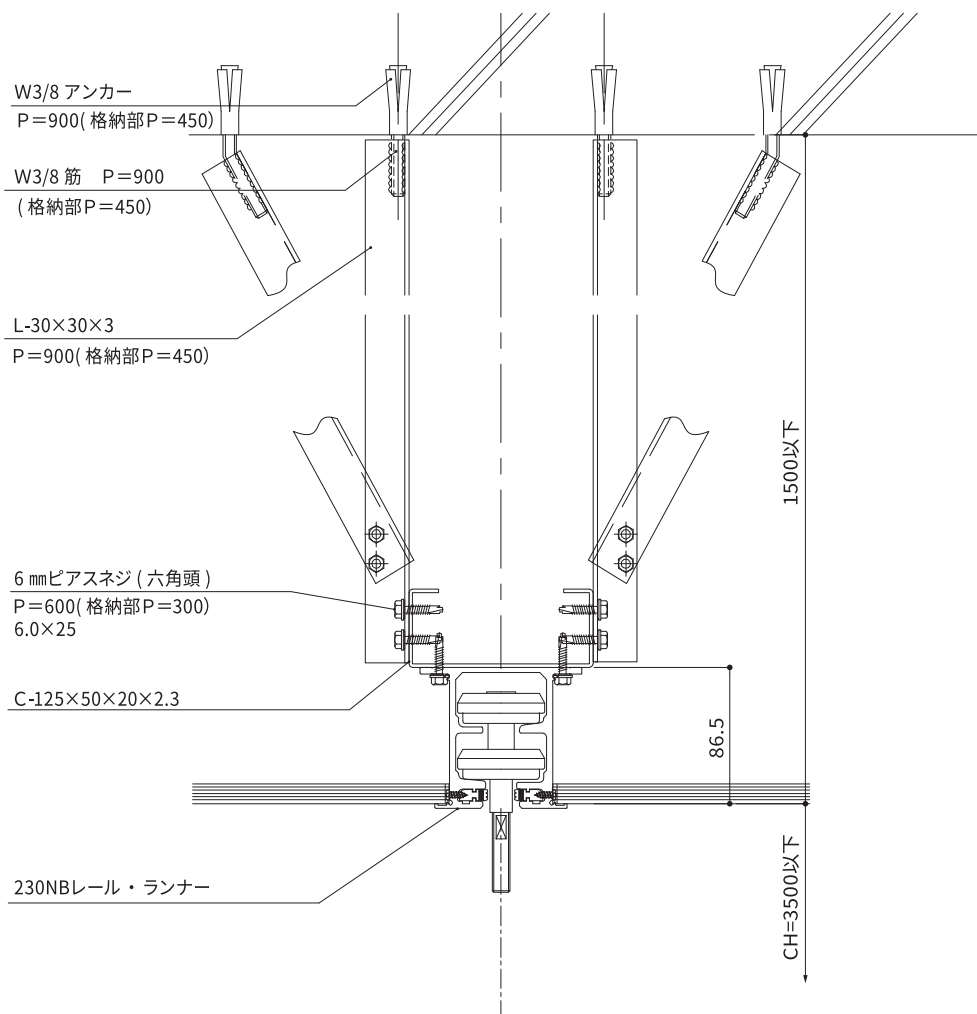
また天井内部には、さまざまな設備器具がありますので、スライディングウォールの取り付けに障害となるものがないか、充分チェックする必要があります。

事前のチェックポイント

電源用配線・照明器具・配管スペース・空調用ダクト・火災報知器・スプリンクラー・消火栓・天井下地など障害物はないか充分調べる必要があります。

パネル吊込みのポイント

各結合部が充分か確認ください。スライディングウォールの作動時は振動を伴うため、長期間ご使用されると接合部が緩む場合があります。



Sliding Wall 230NB